

## 企画展「かんかん、にっこり 表情」展

会期：9月1日（金）～10月25日（水）

休館日：毎週木曜、毎月26日～31日

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円、団体要予約（20名以上）

開館時間：10時～16時

先月に続き、暁斎と娘・暁翠らが描いた表情豊かな作品をご覧ください。

暁斎は、神仏や鍾馗・日本武尊といった伝説の英雄から我々普通の人々までが抱く怒りや笑い、嘆きを鮮やかに描き出した作品の数々や、娘・暁翠の描いた静かに怒る「不動明王図」や女流画家には珍しい戯画の「福祿寿の入浴」など、多様な「喜・怒・哀・楽」の表情を、工夫して描く暁斎・暁翠父娘の作品を、お楽しみいただければ幸いです。

河鍋暁斎記念美術館の  
HPへはこちらから→



## 「東海道名所之内 御能拝見朝番」

左：暁斎、右：芳虎、左上：二代広重の合筆 大判錦絵 大金板 文久3年（1863）

文久3年（1863）、第14代将軍徳川家茂が200数十年ぶりに上洛することになりました。そこで江戸の浮世絵師たちや版元たちが力を合わせて162枚にもおよぶ東海道名所シリーズの錦絵を出版しました。この錦絵は、その中の1枚です。江戸城内で能が上演される時、大名や役人たちが拝見しただけでなく、一部の町民も拝見することができました。江戸に古くから住む「古町」の住人で、一町につき何人と割り当てられたようです。町民たちは砂利の敷かれた屋外で能を拝見したので、傘が1本ずつ配られたのです。さらに、役人の悪口（批判）を大声で言ってもよかったですと言います。そのように御能を堪能した町人たちが、傘を振り回しながら喜び勇んで帰っていく姿を、暁斎は描いたのでしょう。暁斎と国芳塾で兄弟子だった芳虎が行列を見守る御殿女中を、二代広重が風景を描いた合作錦絵です。



## 第一中学校けやき学級（特別支援学級）

夏休みも終わり、ついに二学期が始まりました。今年の夏休みは少し短くなり二学期のスタートは8月29日からとなりました。

行事が多い二学期ですが、早速9月16日（土）に体育祭が行われました。体育の授業の他に、学年練習、クラス練習、全体練習、朝練習、昼練習、放課後練習など、体育祭に向けて一人一人が自分にできることを一生懸命頑張ってきました。当日は、市歌、校歌も元気に歌い、ラジオ体操や個人種目、団体種目も練習の成果を発揮することができました。体育祭が終わった後は、力を使い切っ

たと同時に、みんな達成感に満ち溢れていました。

けやき学級の畑では、一学期から栽培していたナス、キュウリ、枝豆を収穫し、おいしくいただきました。今後は12月に行われる一中バザーに向けて、白菜、ブロッコリーの栽培をしていきます。

10月中旬には、第二中学校との合同宿泊学習、下旬には合唱祭があります。行事も普段の学校生活も、体育祭を通して成長したけやき学級の活躍をととても楽しみにしています。